

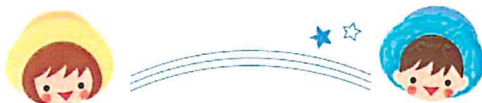
2019年

ほけんだより 8月号



R1. 8. 1

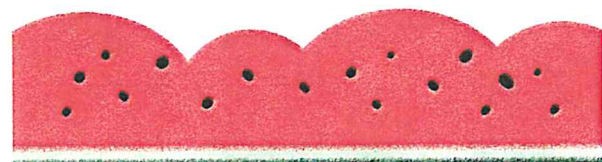
生目台ピノキオこども園 看護師 合屋



梅雨明けとともに今年も暑い夏がやってきました。
 朝の園庭ではせみが賑やかに鳴き子ども達が元気に遊んでいます。
 そしてプール活動も大会が近づき子ども達もたくましく日焼けしてきました。
 又、ご家庭では学校の夏休みも始まり色々な夏の行事や家族旅行など楽しい計画も多いかと思えます。体調やけがなど気をつけながら楽しい夏の思い出、沢山できるといいですね！！



先月の子ども園では、感染症胃腸炎などによる下痢や嘔吐、又手足口病、リンゴ病などみられています。
 又、県内こども感染情報によりますと流行性角結膜炎（はやり目）、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症なども、流行しているようです。
 日頃から、せっけんを泡立て30秒以上の“こまめ”な手洗いやこどもが触る、おもちゃなどの消毒（アルコール）で、感染を防ぎましょう。



6月は、歯科、小児健診がありました



8月7日は、『鼻の日』です！！

鼻は、呼吸の出入り口です。ウィルスや細菌が体に入るのをやめてくれます。
 又、耳やのどにつながっています。
 鼻の調子がよくなると中耳炎やのどの炎症を起こします。
 臭いもしません。
 鼻水、鼻づまりなどしっかり治療し、大切にしましょう。



夏の感染症

保育園でうつさない！！
うつらない！！

夏に多く流行する、ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱（プール熱）、流行性角結膜炎（はやり目）そして感染性胃腸炎など、子どもがかかりやすいウィルス性の感染症です。
 症状は2～3日でよくなりますが、病気によっては2～3週間便からウィルスが出たりします
 感染を拡げないように注意しましょう。
 又、病気にかかったら症状がしっかりよくなってから登園しましょう！

暑い夏を元気に乗り切るポイント

熱中症対策

1 水分補給

大量に汗をかくと、脱水症状をおこし熱中症の原因になります。こまめな水分補給を心掛けましょう。
 登園には水筒をもってきましょう。

水分補給！



2 皮膚ケア

こまめに汗を拭いたりシャワーを浴びたり、皮膚を清潔に保ちましょう。
 ※虫刺され（蚊も）などもしっかりケアしましょう。



3 室温管理

高温・多湿など条件が揃えば室内でも熱中症は起こります。
 エアコンを上手に使いましょう。

